



旬のレシピ ちばの味²⁰⁶



しょうゆが香る
タケノコの甘辛焼き

〈材料〉2人分

- ゆでタケノコ・小1本(150g) 酒……………大さじ1
 - 厚揚げ……………1/2枚 しょうゆ……………大さじ1
 - サラダ油……………大さじ1 かつお節……………適量
 - 砂糖……………大さじ1 ゆでニンジン……………適量
- (1人分/約140kcal 脂質8.8g 食塩相当量0.9g)

【作り方】

- ゆでタケノコの穂先は四つ切りに、根元は半月切りにする。厚揚げは湯通ししてからお好みの大きさに切る。
- フライパンに油を引き、①を入れ、中火で炒める。厚揚げの表面に薄く焼き色が付いたら、砂糖と酒を入れて全体に絡めて炒め、水分がなくなったら強火にしてしょうゆを回しかけ、香りを出す。
- 器に盛り、お好みでかつお節を振りかけ、ゆでニンジン添える。

〈おいしく食べるコツ〉

タケノコは収穫した直後からえぐみの原因となるあくが出始めるので、生のタケノコは、できるだけ早く下ごしらえすることが大切です。皮付きのまま米ぬかなどと一緒にゆでたら火を止めて、そのまま一晩置いてしっかり冷まします。

水煮タケノコもお手軽ですが、手間をかけて下ごしらえした生のタケノコも絶品です。【調理協力・千葉伝統郷土料理研究会】

タケノコの豆知識

「ちばくんの今日はどこ行く?」でも紹介した大多喜町は、県内有数のタケノコの産地です。「酸性白土」という粘土質の土壌が、あくが少なくおいしいタケノコを作ります。「タケノコをさっと熱湯にくぐらせ、薄くスライスして刺し身で食べるのが最高!」と大多喜町の生産者。大多喜のタケノコだからこそ、こんなぜいたくな食べ方ができるのです。 **タケノコ** **JAいすみ** **検索**

【訂正とおわび】 3月号「旬のレシピちばの味」に掲載いたしました「カツオの豆知識」に誤りがありました。正しくは次の通りです。訂正しておわびいたします。 誤：低タンパク質 正：高タンパク質

問い合わせ 県報道広報課 TEL043-223-2241

1 とうのしょう 東庄ふれあいセンターのシバザクラ(東庄町)

見頃 4月上旬~4月中旬

東庄ふれあいセンターの前庭で、シバザクラが満開を迎えます。この花畑は、県生涯大学校東総学園の卒業生らが作るボランティア団体「東庄町芝桜の会」が手入れをし、増やしてきたもの。当初片隅に咲いていたシバザクラが、数年をかけて今では6600平方メートルにまで広がりました。



「東庄町芝桜の会」の皆さん



無病息災を願うこいのぼりも揚がります

夏場の除草作業は特に苦勞するそうです。一面ピンク色に染まる景観を楽しんでみませんか。



場所 香取郡東庄町小南3430(カーナビや地図アプリは「小南1140」で検索)
交通 東関東自動車道「佐原香取IC」から車で30分(無料駐車場60台)
JR成田線下総橋駅しもとうはしから徒歩50分

問い合わせ 東庄町まちづくり課 TEL0478-86-6076

※ホームページで開花状況を更新中

東庄町芝桜の会 **検索**



2 おおたき 道の駅 たけゆらの里おおたき(大多喜町)



新鮮なタケノコをご賞味ください

春の味覚、タケノコの旬がやってきました! 大多喜町のタケノコはあくが少なく、とてもおいしいと評判です。

道の駅の農産物コーナーには、朝採れの新鮮なタケノコが5月上旬ごろまで並びます。「房総ジビエ」として大注目のイノシシ肉や、原木栽培で歯応え抜群のシイタケなども販売。食堂でもイノシシ丼や季節限定のタケノコ御膳、濃厚なソフトクリームなどが味わえます。大多喜駅前レンタサイクルを借りて町内を周遊するのもおすすめです。



名物のイノシシ丼



場所 夷隅郡大多喜町石神855

交通 圏央道「市原鶴舞IC」から車で25分(無料駐車場95台)

いすみ鉄道東総元駅ひがしのみさとから徒歩20分

営業時間 9時~18時(食堂など施設、時期によって異なります)

問い合わせ 道の駅たけゆらの里おおたき TEL0470-82-5566



県立飯高特別支援学校 「地域と共にある学校」

飯高ワンチーム

飯高特別支援学校では、令和元年度に県内の特別支援学校としては初めて学校運営協議会が設置され、「コミュニティ・スクール」がスタートしました。



協力して花を植えます

保護者や地域の方などが学校運営に参加することで、地域との連携が深まり、児童生徒たちの学びの場が広がっています。

また、匝瑳市飯高地区で活動する「飯高コミュニティ・メンバー」の1団体として、地域の方と共にお寺の清掃や近隣の福祉施設で利用者との交流、花壇の花植えなども行っています。

地域での学び

2月に「ふれあいパーク八日市場」で開催さ

～飯高特別支援学校(匝瑳市)～
平成27年に創立された特別支援学校。「コミュニティ・スクール」「命の大切さを考える防災教育公開事業」など、地域と連携した活動を多く行っており、他の学校の模範として評価され、文部科学大臣表彰を受けました。

れた「作業製品販売会」では、手工芸班が作製した巾着袋やトートバッグ、農園芸班が栽培したパンジーや落花生などを、地域の方とコミュニケーションを取りながら販売しました。

農園芸班の菅谷さん(高等部2年)は販売した培養土について「土が重かったので袋に入れることが大変だった」と言い、手工芸班の宮野さん(高等部2年)は「実際にお金をもらうことで仕事について学べるので楽しい」と話してくれました。



手工芸班の販売ブース

飯高特別支援学校では、これからも地域の方と協力したさまざまな活動を通して、飯高地区を盛り上げていきます。

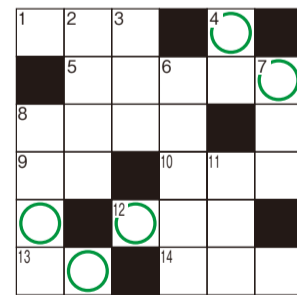
問い合わせ 県立飯高特別支援学校

TEL0479-70-5001

飯高特別支援学校 **検索**

クイズ&プレゼント

丸部分の5文字を組み合わせて、答えになる言葉をつくってください。
締め切り 4月17日(月) (必着) ※投函はお早めに。



- 陰の対義語。
- 能力や性質を見分けるための試験。
- ためらわず、すぐ承知すること。「二つ〇〇〇」。
- こうしようと考えていること。思惑。
- マグマが噴出するところ。

【タテのカギ】

- 秋の七草の一つ。鎌ヶ谷市の市の花にもなっています。
- 海の王者。鴨川市で見ることができます。
- 物事の最終段階で緻密さを欠いているさま。「〇〇が甘い」。
- のんきで前向き思考の人のこと。
- 道。道すじ。
- 世間に知られていること。
- 膜に包まれたままのサケやマスの卵。

ヒント=身を守るために必要です。

【ヨコのカギ】

- 人間の社会が経てきた変遷の記録。佐倉市には国立〇〇〇民俗博物館があります。
- 砂糖や牛乳を煮詰めて作るあめ菓子。
- 将来のためにお金を備えること。

応募方法

県ホームページ「ちば県民だよりクイズ応募ページ」からご応募いただくか、はがき(63円)に、答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と「ちば県民だより」への意見・感想を必ず書いて、〒260-8667(住所記載不要)県報道広報課クイズ係へ(応募は1人1通まで)。正解者の中から抽選で50人に特製クオカードを贈呈。いただいたご意見などは、今後の編集の参考にさせていただきます。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報は、賞品の発送のみに使用します。

3月号の正解



正解者は5394人でした。